

## 令和7年度都立多摩高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国 語	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク等、主体的かつ協働的な学びの設定</li> <li>・OPPシートを利用して、要点整理を目的とした問いと振り返りの実施</li> <li>・自分の考えをまとめ、表現する活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を活用し、発表資料を共同作成させる等、他者と協力し課題解決を目指す学習を実施</li> <li>・OPPシート・振り返りの活用</li> <li>・単元ごとに、論理的な構成を意識して文を書く指導を実施</li> </ul>
地理歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な見方、考え方を働かせた思考力、判断力、表現力の育成</li> <li>・基礎的基本的な地理、歴史の知識及び技能の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用した効率的な学習</li> <li>・定期考査で資料や新聞の読み取りに関する出題の実施</li> <li>・振り返りシートの活用による学習内容の定着と可視化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した学習成果の発表</li> <li>・グループでの協調学習による学び合い</li> </ul>
公 民	社会の諸課題について主体的に解決しようとする姿勢を育む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的事項の定着のため、前時の復習や小テストを実施</li> <li>・具体的な事例を取り上げ、学習内容や諸資料から課題を読み取り、考察する活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決に向けて、他者と協力して取り組むグループワークや、自分の考えを他者に発表する学習活動の充実</li> <li>・一人1台端末を活かした取り組みを実施</li> </ul>
数 学	中学までの既習事項の取りこぼしをなくす	中学までの内容を学びなおす授業展開を行い、生徒ができた実感できる瞬間を作り出す	生徒が主体的に数学に取り組めるようにする。自分のペースで授業が展開できるような教材を準備して取り組ませる
理 科	身近な物・事象と科学の関りに関心と意欲を引き出し、科学的思考力を育成する基礎基本の定着に徹する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的かつ協働的な学びあいの設定</li> <li>・観察や実習を通じた探究的な学び</li> <li>・要点整理を目的とした問い（確認テスト）の実施</li> <li>・学びなおし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTとホワイトボードといった多様な協働学習ツールを通じて、グループワークによる課題解決の場面の設定</li> <li>・野外観察実習による実地調査</li> </ul>
体 育	生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続すること	主体的・協働的な学習活動を通じて「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」を育成するための取り組み。	体力や技能の程度、性別や年齢に関わらず運動やスポーツの多様な楽しみ方を社会で実践できるような取り組み。

## 令和7年度都立多摩高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
芸 術	他者と協働し、課題発見、課題解決できる力を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の振り返り実施</li> <li>・グループでの活動を増やし、他者との交流でコミュニケーション能力向上を図る</li> <li>・現代芸術と関連させながら、幅広く芸術に触れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末を利用して、様々な芸術を閲覧し、自身の考えを深めたり、創作活動に取り入れる</li> <li>・他者の作品、演奏に対して評価</li> </ul>
外 国 語	「学びなおし」の充実と、それを基にした「Speaking」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学までの内容を徹底的に繰り返し、基礎の定着を図る。</li> <li>・授業内でのペア・グループワーク等を通して活発な英語の発話を促す。外国語に対する苦手意識を減らす。</li> <li>・各学年で学期に2回以上パフォーマンステストを実施。JETやALTによる評価の導入。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュージーランド、台湾の高校とオンライン授業での交流。</li> <li>・ニュージーランドの高校との交換短期留学。</li> <li>・スキルアップ講座(3級、準2級)の開講と自発的受験の促進、およびマンツーマンでの英検2次試験対策の実施。</li> </ul>
家 庭	ライフステージに応じた生活知識および技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージの段階をふまえた題材を設定し、生徒が自分事として学べるように教材を工夫する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な意見に触れさせるためにグループワークや発表を取り入れる</li> <li>・実験や実習等の体験的な学習を多く取り入れる</li> </ul>
情 報	情報と情報技術を適切に活用すると共に、情報社会に主体的に参画する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会の特性を理解させるような教材作成。</li> <li>・文章作成・表計算ソフトウェアを活用し効率的な処理ができるような課題作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書デザイン検定3級、表計算検定3級、スピード認定試験等の受験機会を与える</li> </ul>
商 業	商業の見方・考え方を働かせ、ビジネス社会に必要な基本的知識・スキルの育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業の基本的な学習と社会に出て働く時の基礎を具体的に身に付け、社会に出ることに興味を持たせ、段階的な学習を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の定着のため、学習内容に振り返りの要素を取り入れる</li> <li>・常に学習の向上を目指すよう、発展的な学習内容を取り入れる</li> </ul>